

令和2年度 南区組織目標に掲げた重点目標の指標一覧表

1 地域住民との協働で、安心できる減災に向けたまちづくりを進めます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	担当部会
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			
1	地域総務課	地域住民との協働で、安心できる安全なまちづくりを進めるとともに、空き家の適正管理と利活用を進めるため空き家対策に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ごとに防災情報や地域特性、地域の取り決め事項などをまとめた「防災虎の巻」の作成</li> <li>自主防災組織の訓練実施</li> <li>中学校防災教室</li> <li>高校生災害ボランティア育成</li> </ul>	対象地区全14地区での「防災虎の巻」作成	-	-	-	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織の訓練形式は、実地訓練のほか、地域の実情に応じて講座受講、マニュアル研修等として実施することも可とする。</li> </ul>		第1部会
			<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織の訓練実施</li> <li>中学校防災教室</li> <li>高校生災害ボランティア育成</li> </ul>	自主防災組織全23組織の訓練実施	(23)	(23)	(22)	23				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家相談会の開催</li> <li>地域との情報共有</li> <li>市協定団体等との連携</li> </ul>	空き家の利活用に向けた取り組みの実施	-	-	-	実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家相談会の開催(R1=1回)</li> <li>空き家情報の更新(年2回)</li> </ul>		

2 区民の健康意識の醸成と支え合いのしくみづくりを充実させ、健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	担当部会
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			
2	健康福祉課	区民の健康づくりへの関心を高め、区民の特定健診受診者数を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニドック型集団健診の実施(5会場7回実施)</li> <li>健診受診申込・PR等のコミ協への委託とまんがによる健診PR</li> <li>電話による健診受診勧奨</li> </ul>	電話による受診勧奨(人)			190	260		特定健診受診率 H28 34.4% H29 36.3% H30 36.1% R1 30.6%(R2.3.5現在)		第2部会
3	健康福祉課	地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の茶の間の充実</li> <li>身近な生活支援体制の構築</li> </ul>	地域の茶の間の設置件数または開催頻度			設置件数 63 (うち、週1回以上開催の補助件数 2)	設置件数の増加またはひと月あたりの開催頻度を高める		区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)		第2部会
4	健康福祉課	子育て中の保護者を応援し、子育ての不安解消を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援リーダースキルアップ研修の強化</li> <li>子育て広場の開催</li> </ul>	子育て支援リーダー勉強会の回数(回)			検討	2				第2部会

3 コミュニティ協議会やにいがた南区創生会議などとの協働を深めるとともに、区内公共交通の利便性向上や維持・改善に向けて取り組みます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	担当部会
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			
5	地域総務課	区内の生活交通を維持するとともに、より利便性を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>区バス運行事業</li> </ul>	区バスの運行を支援する協賛企業数(社)	(29)	(30)	(34)	34		<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ影響下、現状を維持。</li> </ul>		第1部会
6	地域総務課	コミュニティ協議会やにいがた南区創生会議などの自立に向けた取り組みや区の将来像を検討する組織の活動を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ懇談会等の開催</li> <li>にいがた南区創生会議全体会、まちづくり部会、ワークショップ等の開催</li> </ul>	コミュニティ懇談会等の開催回数	11	12	12	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>懇談会等に書面等他の手法による意見交換を含めることで全コミ協での達成を目指す。</li> </ul>		第1部会
			<ul style="list-style-type: none"> <li>にいがた創生会議全体会・各部会等へ参画回数</li> </ul>		29	39	50	15		<ul style="list-style-type: none"> <li>部会組織の変更により減少。</li> </ul>		
7	建設課	旧国道8号の道路空間利用を含めた移住モデル地区の「白根まちなか地区」を中心に、「にいがた南区創生会議」と協働で、「南区の明るい未来」を実現するためのまちづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の取り組みや要望事項などの情報収集</li> <li>にいがた南区創生会議まちづくり部会の開催</li> <li>目指す未来を具現化する「未来ビジョン」の作成</li> </ul>	「まちづくり部会を中心に未来ビジョン」を作図				作図		<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の取り組みや要望のうち、目指す未来に合致するものを未来ビジョンとして作図する。</li> </ul>		第1部会

4 地域の特産品のブランド化を推進するとともに、農業の担い手を育成し産地の維持発展を図ります。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	担当部会	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果				補足・参考指標
8	産業振興課	農業・商業・工業の連携により農業の6次産業化・12次産業化を推進し、地域産業の活性化や雇用の創出を図ります	・南区ルレクチエブランディング事業 ・南区おもてなし力向上プロジェクト	民間等と協働により開発した新商品数(品)			9	4					第3部会
9	産業振興課	商店街の元気とまちなかの活性化を目指します。	・南区拠点商業地活性化推進事業計画 ・民間団体等との協働 ・空き店舗及び空き家の有効活用	区内の空き店舗及び空き家の活用数(件)		3	5	3		<拠点商業地内空き店舗活用> H27:6件、H28:5件、H29:2件 <区内空き店舗・空き家活用> H30:3件、H31:5件			第3部会
10	産業振興課	農地の有効利用や農業の効率化を進め、多様な担い手を育成します。	果樹担い手育成協議会の運営	樹園地の維持・再生のための樹園地リストの作成	-	-	-	作成		区内の樹園地における廃作地や休耕地については、面積を含め把握できていないのが現状。まずはこれを把握し、リスト化することで農地の活用と担い手確保に繋げていく。			第3部会
11	健康福祉課	障がい者(施設)が、地元の農産物を加工・販売することで、就労意欲を促し自立へ向けた取組を支援します。	・安定した加工品の製造 ・販路の確保	販売店舗の数(件)	16	17	19	20					第2部会

5 南区の農産物や観光資源、地域固有の文化資源等といった地域の魅力について、SNSなどを活用しながら情報を発信します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	担当部会	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果				補足・参考指標
12	地域総務課	区の持つ広報媒体をフルに活用し、区政情報や、区の魅力などを効果的に発信していきます。	・区役所だより発行事業 ・区のホームページの運営 ・区公式PRツwitterの運営 ・市政情報モニターの運営	プレスリリース配信サイト「ピーアール・タイムズ」を活用し、全国の地方紙に区の情報を発信	-	-	-	実施					広報部会
				区公式PRツwitterフォロー数合計	1,452	1,783	2,002	2,100					
13	産業振興課	南区の農産物や観光資源を活用し、観光イメージの定着を図りながら交流人口の拡大を目指します。	ホームページやSNSを活用した南区のPR	南区の情報発信の取り組み件数(件) ・南区観光フォトコンテストなど				3					第3部会
14	地域総務課	文化施設(重要文化財旧笹川家住宅・しろね大風と歴史の館)の一体的な管理及び活用に努め、利用の促進を図ります。	・しろね大風と歴史の館等の展示替えによる施設の魅力アップ	展示替えの実施箇所数	-	-	-	3		・対象施設は、しろね大風と歴史の館、旧笹川家住宅、曾我・平澤記念館			第3部会

※ ○印は、各部会における検証対象項目を示しています。